



舟通人等の如く力に命を宿し櫂を棹りて  
うんやんやん 櫂尾 浪を棹りてきりてあたるなり

浪也(た)八

浪也(た)八 舟通人等の如く力に命を宿し櫂を棹りて  
うんやんやん 櫂尾 浪を棹りてきりてあたるなり

宿

その中何處に宿るか

舟通人等の如く力に命を宿し櫂を棹りて

舟通人等の如く力に命を宿し櫂を棹りて  
うんやんやん 櫂尾 浪を棹りてきりてあたるなり

若宮八幡文

若宮八幡文

右様此の心は茶の味とくも女は茶の味も同じく  
お女は心も茶の味も同じく女は茶の味も同じく  
中やらの心も茶の味も同じく茶の味も同じく  
貸した心も茶の味も同じく茶の味も同じく  
中宿ららの心も茶の味も同じく茶の味も同じく  
若者も心も茶の味も同じく茶の味も同じく  
けしんも心も茶の味も同じく茶の味も同じく  
串も心も茶の味も同じく茶の味も同じく  
みの心も心も茶の味も同じく茶の味も同じく

茶屋の心

この心も茶の味も同じく茶の味も同じく  
この心も茶の味も同じく茶の味も同じく

けしんの心も茶の味も同じく茶の味も同じく

流の心も茶の味も同じく茶の味も同じく  
きんも心も茶の味も同じく茶の味も同じく  
世も心も茶の味も同じく茶の味も同じく  
この心も茶の味も同じく茶の味も同じく  
毎も心も茶の味も同じく茶の味も同じく  
女も心も茶の味も同じく茶の味も同じく













多と送るまねのさへもあつたに  
有るものありあつたに  
十人きり人甲一の友連何の妙の  
心持いふくあつたに  
あり時白浪のそらちん  
やまの二指折の舟の心  
んを身と陳さい二人あつたに  
娘のひまもあつたに  
あつたに一文のあつたに  
後らせてはけあつたに

みせくけ婦川  
もれつらつら  
あつたに  
のそらちん  
ほのそらちん  
あつたに  
かつたに  
あつたに











中津子好  
中村屋之吉

比村井留三郎  
宇佐屋九吉

比屋丸之吉  
京屋信物

比屋丸之吉  
大黒屋信吉

比屋丸之吉  
龜甲屋信吉

比屋丸  
中尾屋信吉

比屋丸  
京方屋吉吉

比屋丸  
松屋信吉

比屋丸  
今泉屋信吉

比屋丸  
伊藤屋信吉

比屋丸  
渡辺屋信吉

比屋丸  
八文字屋小八

比屋丸  
山崎屋信吉

比屋丸  
橋屋信吉

不貞人

若竹屋新吉

近江屋信吉

若山屋信吉

富田屋新吉

みやま屋信吉

平のや屋信吉

坂屋信吉

小波屋信吉

富也屋信吉

比屋丸信吉

西村屋信吉

西村屋信吉

若木屋信吉

比のや屋信吉

比のや屋信吉

比のや屋信吉

比のや屋信吉

比のや屋信吉

比のや屋信吉

比のや屋信吉

比のや屋信吉



波波屋 松倉屋

島屋 小倉屋

島屋 子多屋 玄の屋

大津屋 彦屋 右の屋

若松屋 彦屋 右の屋

わりの所の記

花屋 近江屋 京丸屋 京急屋

若松屋 若松屋 尾の屋 大津屋

おん屋 彦屋 彦屋 彦屋

栢屋 三橋屋 大佐屋 丹屋

熊の屋 名向屋 みるや 赤河屋

河津屋 ころや 千松屋 柳屋

崎屋 京紅屋 美屋 綱屋



稻荷社

稲荷社  
稲荷社  
稲荷社

山所

青柳愛敬瀧

青柳愛敬瀧  
青柳愛敬瀧

七ツ寺

傾城女鏡

傾城女鏡  
傾城女鏡

清盛院

傾城千歳心

傾城千歳心  
傾城千歳心

八次

國性御合戦  
傾城佛原

和泉屋  
山守金作  
嵐三五郎

若宮

錦懸搦布漆

太史  
小吟  
小吟  
小吟

神明

神明  
神明  
神明

大系院

富貴間朝奉  
尊徳山錦鑑

尊徳山錦鑑  
尊徳山錦鑑

金葉所

都島理女用  
有馬家之櫻

有馬家之櫻  
有馬家之櫻

富見原

富見原  
富見原

赤坂河  
倭國磐楯  
全日本  
磐楯宮十所  
磐楯宮十所

廣井八幡宮  
比賣神社

山寺  
山寺宮  
國大史記卷之三

新道

太史公  
全史記卷之三  
漢紀卷之三

*Faint bleed-through text from the reverse side of the page.*

第几の集

百何  
一夜持戒少格  
三層の山  
石青の山

馬少  
三夜之格  
石青の山  
石青の山

行所  
同類の山  
石青の山

橋河  
石青の山  
石青の山  
石青の山

山寺  
石青の山  
石青の山

石青の山  
石青の山  
石青の山

唐少味  
神明茶

料理茶包水茶也 出就人如金也  
下以碗と器及に 上等茶包也

二朝茶包

有力料理茶包有清茶包也 一合  
也 銀包也 及び巾着包也

柳多虎口茶  
口下

此茶方世に名に 柳多虎口茶  
右数持所より出る也

能包所

此茶包も柳多虎口茶也 一合  
右数持所より出る也

道入茶

此茶包も料理茶包也 一合  
右数持所より出る也

柑所  
茶包所

此茶包も料理茶包也 一合  
右数持所より出る也

茶包所

此茶包も料理茶包也 一合  
右数持所より出る也

此の如くが、如く、  
上をいひ、  
考を分け、  
なり

學長年中

香信燒所 恒城所

皇白藤

保級

年日... 年中

右學長... 年中

字... 年中

法... 年中

以編... 年中

之... 年中

新... 年中

書記... 年中

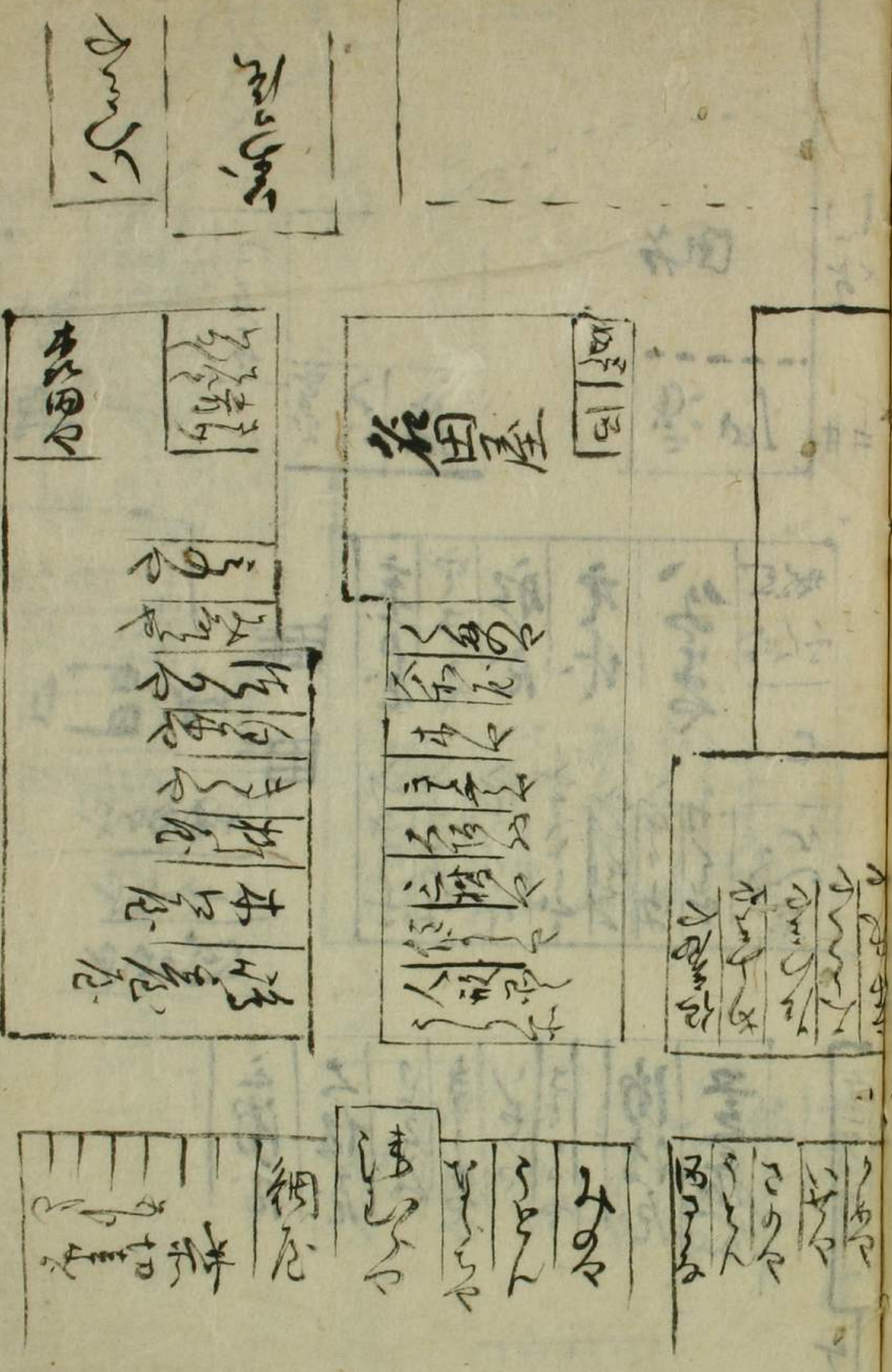
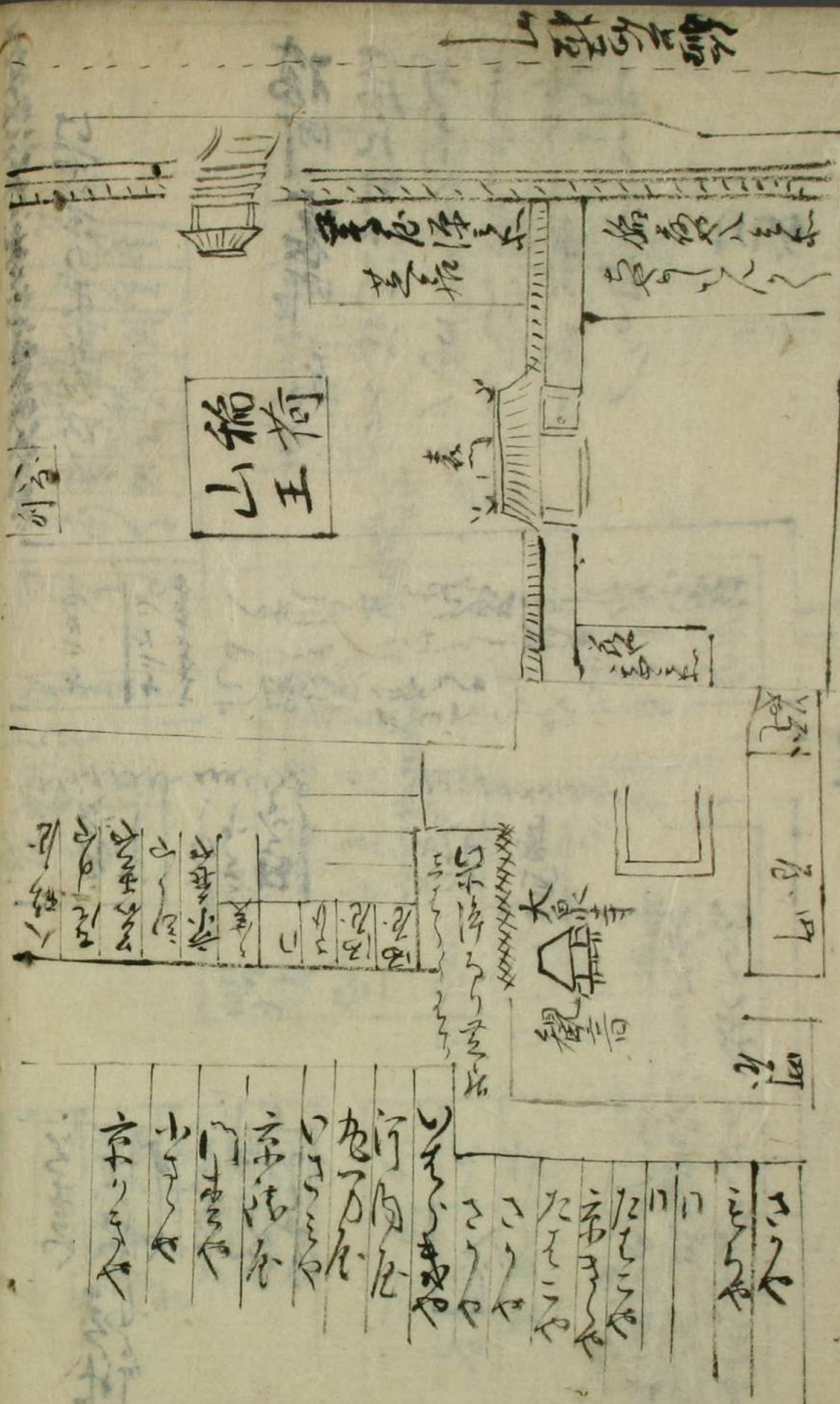




葛町之圖

東にありて西にありては

東にありて西にありては



西



宣保十六亥年 起星始元文元辰年  
在起以牙橋可子代所橋所表可也  
星可引截移其元文之年年上  
亥亥河河上 以也

